



The Weekly Report of SUNAGAWA RC

砂川ロータリークラブ会報

■ 本日は 6月4日(水) 第2151回 例会 ■

四大祝福 会長担当
 クラブフォーラム
 委員会年間活動報告
 ※ RCレート 1月1日より 1\$ 102円

■ 次 週 の 予 定 ■

6月11日(水) クラブフォーラム 副会長担当
 クラブ奉仕部門委員会年間活動報告
 6月18日(水) 三役退任挨拶 会長担当
 夜間例会

第2150回 例会記録 2014年(平成26年)5月28日(水) 晴れ 「それこそロータリー」「四つのテスト」斉唱

- ・ゲスト紹介 北海道砂川高等学校
校長 松原 秀道様
- ・ビジター紹介 本日はいらっしゃいません

会 長 報 告

会長 石家 裕二

- ①大変残念なお知らせです。チャーターメンバーの吉野会員より5/20に退会届が提出されました。5/21の理事会において、6/30付けでの退会が承認されました。長年、お世話になりましたということで、10万円のお志を頂いております。
- ②ロータリー財団より寄附明細が届いております。
- ③砂川身体障害者福祉協会より第3回福祉交流パーティ開催のご案内が届いております。
日時:7月26日(土)午後6時
場所:砂川総合福祉センター チケット:1枚2,000円

幹 事 報 告

幹事 永森 直弘

- ①次週の例会は会長担当のクラブフォーラムとなっております。四大奉仕、ロータリー財団、米山記念奨学会、会計、SAAの活動報告となっておりますので、各委員長さんはご準備をお願い致します。また、来週、欠席される委員長さんは代役を立てください。代役のいない方は永森までご連絡をお願いいたします。

委 員 会 報 告

お知らせ 次年度 幹事 松原 重俊
 5月30日(金)～6月4日(水)までシドニーで開催される世界大会に参加してきます。
 また、次年度理事、役員会は、4日(水)から11日(水)例会終了後に変更いたしますので、関係の方は、ご出席よろしくお願ひします。

例 会

ゲ ス ト 卓 話

プログラム委員会担当

ゲスト紹介 プログラム委員長 内野 司
 松原秀道(マツバラ シュウドウ)様

- ・昭和31年1月10日美唄市生まれ
- ・昭和49年 北海道美唄東高等学校卒

- ・昭和60年 北海道大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学
- ・昭和60年 北海道更別農業高等学校、その後北海道北広島高等学校を経て
- ・平成11年 北海道教育庁十勝教育局、その後根室教育局、渡島教育局を経て
- ・平成18年 北海道帯広三条高等学校教頭、その後北海道旭川西高等学校教頭を経て
- ・平成23年 北海道土ノ国高等学校校長
- ・平成26年 北海道砂川高等学校校長

高校教育の現状と課題

北海道砂川高等学校校長

松原 秀道 様

1 教育の場から見た日本の現状

今日、グローバル化や情報化の進展により世界全体が急速に変化している中で、日本は少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少や過疎化などが進行し、将来を見通すことが困難な状況となっております。

そのような中で、未来の我が国を支える若者一人一人が能力・個性を开花させ人生を豊かにするとともに、自立し最大限能力を發揮しながら、社会に参画・貢献していくことが強く求められており、高校は社会で生きていくために必要となる力を共通して身につけ、自立に向けた準備期間の提供であり、その果たす役割と責任はきわめて重いものがあります。

2 生徒を取り巻く状況の変化

(1) 生徒の多様化

中学校卒業後高校への進学率は、新制高校となった昭和25年度には42.5%であったのが、昭和45年には82.1%、そして、平成25年度には98.4%に達しております。

高校がこのように「国民的教育機関」となり、高校に進学する生徒の実態もその能力、適性、興味・関心、進路希望等が多様化しており、入学段階での実態や卒業後の進路、そして、家庭環境を含めた生徒一人一人が抱える課題等も多様なものとなっております。例えば、中途退学者については減少傾向にありますが、元々高校生活に興味がなかったり、人間関係が保てなかったりするなど、学校生活・学業不適應とするものの割合が高くなっています。また、増加傾向にある不登校

生徒については無気力や情緒的混乱などがそのきっかけとして挙げられます。

(2) 基礎学力の不足と学習意欲低さ

高校のみならず、現在の日本の学校教育では、特に中間層の学習時間の減少とともに、基礎学力の不足や学習意欲の低さが見られております。高校においても、小・中学校での学習内容を十分に身につけていない者も見られ、学び直しへのニーズが高まり、現行の学習指導要領にも「義務教育段階の学習内容の確実な定着を図るための指導」、「学習の遅れがちな生徒の指導」が明記されております。

(3) 大学入試の選抜機能の低下

少子化の流れの中で、高校を卒業する生徒の減少が続き、一部の選抜制の強い大学に対し、私立大学の中には入学定員を充足できず、合格率が90%を超える大学が100校以上存在しております。さらに、推薦入試やAO入試など学力検査を伴わない入学者が増えており、大学入試の選抜機能が低下し、進学希望者に学習への動機を与え学習意欲を喚起して進学者全体の学力を維持するという機能も低下しております。

3 社会状況や生徒の状況から見た高校教育の課題

高校ではすべての生徒に確実に身につけさせるべき資質・能力の検討、すなわち「共通性の確保」と生徒の多様化への対応する教育内容の検討やシステムの構築、すなわち「多様性への対応」、さらにこれらを含めた「教育の質の確保・向上」が大きな課題となっております。

また、グローバル化が加速する中で日本人としてのアイデンティティや日本の歴史と文化に対する深い教養を前提として、確かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神等を身につけて様々な分野で活躍できる人材を育成することが教育に求められています。

4 高校教育の質の確保・向上に係る基本的な考え方

すべての生徒が共通に身につけるべき資質・能力として「コア」という言葉が使われております。「コア」は「学校教育法」に定められた学力の三要素（基礎的な知識及び能力を習得させること・これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力をはぐくむこと・主体的に学習に取り組む態度を養うこと）を踏まえ、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」いわゆる「知・徳・体」をその範囲としています。

さらに、社会で自立し、社会に参画・貢献していく観点から、先程述べた「学力の三要素」とともに、「コア」を構成する資質・能力の重要な柱として次の力を重視すべきものであります。

(ア) 社会・職業への円滑な移行に必要な力

(イ) 市民性（市民社会に関する知識理解、社会の一員として参画し貢献する意識など）

5 多様なニーズへの対応

(1) 北海道新しい高校づくり

(ア) 総合学科（美唄尚栄高校など道内16校）

(イ) 全日制普通科単位制（砂川高校など道内25校）

(ウ) 普通科フィールド制（道内7校＜道内独自の取組＞）

(エ) 中高一貫教育（道内7地区）・中等教育学校（道内1校）

(オ) 地域キャンパス校・センター校（18組36校＜道内独自の取組＞）

(カ) 高校間連携

(ク) その他の動き（文部科学省関係）

(7) スーパーサイエンスハイスクール（SSH）（滝川高校はじめ全道9校）

(イ) スーパーグローバルハイスクール（SBH）（登別明日中等学校、札幌聖心女子校）

6 その他（キャリア教育）

「コア」を構成する資質・能力の重要な柱として重視すべきものとして2つを挙げましたが、この2つの力を育てる上で密接に関係しているのが「キャリア教育」です。「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通じてキャリア発達を促す教育」と定義され、これまでの「進路指導」の範囲でははく、単なる卒業時の出口指導を超え、将来を見通して自分の生き方・在り方を考えさせるもので、小学校・中学校・高校・大学と系統立てた指導を通じて指導すべきものです。

出席報告

委員長 近藤 俊継

第2150回例会

※在籍数 42名 ※出席規定免除 1名

※本日出席基数 41名 ※本日欠席者数 7名

※本日出席率 82.92%

※本日欠席者 曾我悦工会員

北谷好文会員、染谷 昇会員、三塚郁夫会員

山田賢司会員、大橋俊彦会員、大山知行会員

※出席規定免除者 吉野繁夫会員

※メイクアップ 沢田広志会員、飯澤明彦会員

前々回の欠席者4名の内2名の方がメイクアップされましたので 前々回の出席率90.24%を95.12%に修正致します。

ニコニコボックス

※志 ☆吉野繁夫会員

※この度、砂川商工会議所終身議員の称号を頂きました。死ぬまでよろしくお願い致します。

◎水島孝嗣会員

※プログラム委員会としてゲスト紹介させて頂いて。

内野 司会員

※緑の羽根募金、多数のメンバーの参加御協力ありがとうございました。

高橋秀明会員

※I Mの決算報告を終えて。皆様の御協力ありがとうございました。

杉本 勉会員

※松原校長先生卓話ありがとうございました。

石家裕二会長

※シドニー国際大会に参加してきます。 松原重俊会員

本日のニコニコBOX 120,000円 累計額 1,706,000円

☆は超高額、◎は高額、○は多額

※米山記念奨学会:

本日 0円 累計 490,000円

※ロータリー財団:

本日 0\$ 累計 4,500\$

本号担当: 岩 渕 健 悦 次号担当: 大 橋 俊 彦

事務局: 砂川パークホテル内 (TEL0125-52-3989)

会長 石家 裕 二 幹事 永 森 直 弘

欠席届は前日昼迄に梶尾幸克SAAまで(TEL52-6370・FAX52-6370)